

解答

一

- 問一 (ア)
問二 暑さ、寒さの訪れを前もって知る能力。
問三 葉っぱが夜とができる
問四 もっとも夏らしく夜が短いのは、六月下旬の夏至の日であるということ。
問五 夜の長さ
問六 芽生えは
問七 (エ)
問八 ツボミをつくる条件である長い夜の暗黒が与えられなかったから。
問九 (D)
問十 タネ
問十一 多くの植物
問十二 (イ)
問十三 (ウ)
問十四 タネが少なくなるか、つくれなくなる事。
問十五 E (エ) F (イ) G (ア) H (ウ)
問十六 強いタネの姿なら、寒さに耐えられるから。
問十七 ⑮ 夜の長さ ⑯ ツボミ
問十八 (エ)

二

- ① 鼻 ② 塩 ③ 根 ④ 馬 ⑤ 背

三

- ① 得、満、(カ) ② 十、色、(ク) ③ 創、工、(イ) ④ 器、晩、(ケ) ⑤ 品、方、(エ)

四

- ① 習慣 ② 清潔 ③ 農耕 ④ 液状 ⑤ 発揮 ⑥ 権限 ⑦ 敵視 ⑧ じょうせき
⑨ きょうり ⑩ きざ(む)

解説

一

- 問八 ——線⑧の後から、花が咲いた芽生えは、長い夜の暗黒を感じてツボミをつくったことがわかるので、ツボミをつくらない理由は、アサガオが長い夜の暗黒を感じなかったことにあることがわかります。
問十 本文では、植物が夜の長さを葉っぱではかり、暑さ、寒さの訪れを前もって知る能力を持っていることや、夏の暑さや冬の寒さをしのぐためにタネをつくるということが説明されています。自然の中を生き抜いている植物たちについて、あまり知られていない事柄をていねいに述べていることから「植物の性質に対するさまざまな誤解を一つ一つ正し」という記述を含む選択肢(エ)がふさわしくありません。